

速度計封印の謎

R 6 9 S など旧タイプモデルの速度計ケーブルのギアボックス側固定ボルトには頭部に3ミリぐらいの穴が開いています。次期モデルの / 5 からは圧抜き用のブリーザーボルトを兼ねているので同じ細工があるかと思えばワイヤーロック用途しかありません。また速度計ケーブルと速度計の接続部のナットにはワイヤーロックできる構造になっています。長らく緩み止め用途と考えていましたがご来店されたお客様の車両をみて謎が解決しました。

ポリス用など官公庁モデルや法人所有の場合、車両管理のため走行距離を握る必要があります。ケーブルを外して走行距離を少なく見せかけたり、速度計自体を交換して誤魔化したり・・・ワイヤーロックをして封印すれば管理できることになります。



1978年までの走行距離



ワイヤーロック用のドリル穴とボルト

